

オール大阪

さよなら「維新」vol.4

「維新政治」ノー！ ではじまる 大阪の夜明け

住民が主役の自治体の「魂」は「福祉の増進」(地方自治法)、くらしを支え、商売や営業を支援することが本来の仕事です。

また、立場の違いやさまざまな意見をねばり強く聞いて、まとめ上げるのが民主主義であり、地方自治の本来の姿です。Wのたたかいで「対立」に終止符を打ち、まっとうな府政・市政を取り戻し、未来志向の「創造的改革」をいっしょにすすめましょう。



住民が主役へ
くらしと営業をささえる
あたり前の府政・市政に

住民が主役へ

「オール大阪」の 共同の力で、大阪変革を

「オール大阪」の共同の力で、大阪を前に動かす新たな変革の土台がきずかれています。

「維新退場」のあと、その土俵のうえで真剣に、建設的な議論をすすめて、あたり前の府政・市政をつくりあげましょう。

大切なのは「しくみ」ではなく「なかみ」です



元女性府議
の政策・主張

役所のしくみを変えさえすれば良くなると「制度論」に明け暮れ、取り残された大阪。

大阪の成長のため、いま何が必要で、そのために何に取り組むべきか、どこの自治体でもやっているあたり前のことをあたり前の手順で研究・検討・議論・協議し、キッチリと結論を出し、実行します。

未来志向の創造的改革へ 前進！



元市議団幹事長の
政策・主張

先の見えない名ばかり改革によって失われた4年間、ガタガタにされ、バラバラにされた大阪市。「対立」からは何も生まれません。「まっとうな大阪市政」を取り戻し、未来をきずく、つながる大阪へと「創造的改革」で立て直さなければなりません。「対立」による「衰退」から「協調」による「成長」へ。新しい大阪を築きます！

広がる共同の声



憲法違反を許さない 大阪市再生を

明日の自由を守る若手弁護士の会
中村 里香さん

2012年2月、橋下大阪市長が、市職員に対して思想調査のようなアンケートを行いました。この調査は憲法違反であるという声が市民から多く上がり、原告勝訴の地裁判決が出てもお、橋下市長は態度を改めていません。

このような個人の思想・良心の軽視、市民の声を無視することは、決して許されません。大阪市再生のためにも、議会や市民の声に真摯に耳を傾ける政治が求められています。